

# ユルトミリス®の治療を受けている 患者さんご家族の方へ

## 『ユルトミリス®患者安全性カード』の使い方

監修 金倉 讓 先生 住友病院 院長

### 発熱がありましたら、担当医師に連絡してください

- ◆ 『ユルトミリス®患者安全性カード』に記入した連絡先の担当医師にご連絡ください。
- ◆ 担当医師に連絡がとれない場合には、すぐに救急車を呼び、『ユルトミリス®患者安全性カード』を医療スタッフに提示してください。

### ユルトミリス®の重大な副作用に「髄膜炎菌感染症」 があります

- ◆ 「髄膜炎菌感染症」は、生命にかかわる可能性のある病気で、お亡くなりになった患者さんや後遺症が認められる患者さんがいます。

### 監修者のコメント

「髄膜炎菌感染症」は、最も注意が必要な感染症であり、抗菌剤による治療をはやく開始する必要があります。

発熱したら、「髄膜炎菌感染症」を疑って、夜間でも休日でもすぐに担当医師に連絡することをお勧めします。



## 『ユルトミリス®患者安全性カード』とは

- ◆ ユルトミリス® で治療中の患者さんとそのご家族に、「髄膜炎菌感染症」の初期症状について知っていただき、疑われる症状がある場合は、すぐに担当医師へ連絡していただくことを目的に配布しています。
- ◆ 他の診療科や医療機関を受診される際に、受診医療機関の先生方への情報提供も兼ねています。

## 『ユルトミリス®患者安全性カード』をいつも持ち歩きましょう

- ◆ かかりつけの病院、担当医師、連絡先を忘れず記入していることをご確認ください。担当医師が代わりましたら記入内容を変更してください。
- ◆ このカードをいつも持ち歩いてください。
- ◆ お一人何枚でも持つことができます。
- ◆ ご家族や介護の方々にもお渡ししておくと、いざというときに安心です。
- ◆ 発熱などの「髄膜炎菌感染症」が疑われる症状がでたら、ご自身で判断せず、すぐに担当医師にご相談ください。
- ◆ 緊急時にはカードに記入した担当医師に連絡できるようにしてください。

**ユルトミリス® 患者安全性カード**

このカードには、ユルトミリス® 治療を受けている患者様に重要な安全性情報が記載されています。このカードを常に携帯してください。

本剤治療により、患者様に自然に発病している感染症に対する抵抗力が低下することがあります。また、髄膜炎菌感染症を予防できない場合があります。特に髄膜炎菌感染症の場合は、髄膜炎は敗血症を発生し、急激に重症化、死に至ることがあります。

以下の症状のいずれかが出た場合、直ちに担当医師に連絡してください。また、直ちに担当医師と連絡が取れない場合は、すぐに救急車を呼び、このカードを救急隊員に渡すようにしてください。

※ 発病を受けている患者様は、このカードを常に携帯し、このカードを常に携帯する際に、このカードを提示してください。

患者名: \_\_\_\_\_

ユルトミリス® 治療 (かかりつけ) 病院: \_\_\_\_\_

担当医師: \_\_\_\_\_

電話及びEメール: \_\_\_\_\_

緊急時受診可能医療機関

病院名: \_\_\_\_\_

連絡先電話番号: \_\_\_\_\_

電話: \_\_\_\_\_

※ 緊急時受診可能病院をあらかじめ担当医師と相談してください。

